

「特別支援学級ハンドブック」改訂について

徳島県立総合教育センター 特別支援・相談課

1 改定の経緯

「特別支援学級ハンドブック」は平成22年3月に作成され、小中学校に配付、特別支援学級担任者研修会で使用している。法令の改定等により、部分的に追加・修正して使用してきた。

徳島県では、小中学校の特別支援学級で学ぶ児童生徒が増加傾向にあり、特別支援学級担任として経験の浅い教員が増えている。

また、令和3年、文部科学省「新しい時代の特別支援教育の在り方に関する有識者会議」の報告では、小中学校における障がいのある子供の学びの充実や、特別支援教育を担う教師の専門性の向上が求められている。

そこで、具体的で実践に生かすことができるハンドブックとなるよう、全面改定することとした。

2 改定のポイント

- ①具体例や写真等を入れ、見やすく、わかりやすいもの。
- ②最新の情報を入れ、ニーズに沿ったもの。

	○新規項目	◆内容拡充項目
1)特別支援教育についての概要		
2)児童生徒理解と支援について		
3)特別支援学級における学習活動	○特別の教育課程「自立活動」について ・指導目標、指導内容設定の流れ	◆時間割作成 ・文科の通知に沿った例を紹介 ◆障がい特性に応じた支援のポイント ・障がい種別
	○医療的ケア	
	○交流及び共同学習 ・意義と活動での配慮	
4)取組の具体事例		◆保護者との連携 ・年間を通して
5)評価のポイント		◆個別の指導計画との関連
6)連携のポイント	○合理的配慮 ・提供の具体例	
7)関係する法令	○福祉制度について	

3 今後の取組

専門家や保護者、関係機関等の意見を集約し、冊子に反映させる。